



朝カフェがはぐくむ住民の交流 サタデーモーニングカフェ

10月17日(土) 8時30分。東田中南自治会の集会所に住民のみなさんが集まり、2カ月に一度の「サタデーモーニングカフェ」がオープンします。このカフェは、高齢になるにつれて家にこもりがちになる人たちが外に出てきやすい場をつくろうと、平成20年度からスタートしました。週末の朝に、おいしいコーヒーを飲みちょっと立ち寄る感覚なら参加しやすいと考え、土曜日に開催しています。

テーブルにははれたてのコーヒーと焼きたてのパン、サラダなどが並び、参加費100円でビュッフェスタイルの朝食が楽しめます。10時30分までの間は自由に入退きでき、ゆったりと朝食を食べたり、近くに座った人とおしゃべりを楽しむなど、参加者は思い思いに過ごしています。ここで知り合ったことをきっかけに、住民同士が普段から声を掛け合うようになってきているそうです。



住民のみなさんでにぎわう集会所。今回は、70人の参加がありました。



パンは15種類ほどあり、カットされているのでいろんな種類を楽しめます。食生活改善推進員のお母さんたちがつくったお惣菜も!



「スタッフも無理をしないことが長く続けるコツ」と話す福利厚生部長の加寛さん。運営は、福利厚生部員と有志のボランティアが行っています。



子育て中のママも子どもたちとゆったり朝ごはん。子どもたちがおじいちゃんおばあちゃん世代の方とふれあう機会にもなっています。

詳しくは、たがさぼPressで!
土曜の朝は、
「サタデーモーニングカフェ」!
2015年10月29日(木)掲載

ヒント from “たがさぼPress”

たがさぼのブログから地域づくりに役立つ記事をご紹介します

詳しくはブログへ <http://blog.canpan.info/tagasapo/>

● **NGOをもっと身近に。** 2015年10月8日(木)掲載
国際協力・国際交流NGOで活動する名古屋の女性たちの団体「NGOガール」。活動に親しみを持ってもらえるよう、イベントの開催などを行っています。

● **「」かぎかっこPROJECT** 2015年10月15日(木)掲載
石巻の高校生が主体となって、カフェや百貨店などを運営するプロジェクトをご紹介します。『「」(かぎかっこ)』にこめられた想いとは?

● **市民活動と情報安全管理** 2015年10月20日(火)掲載
団体が持つ個人情報の管理、しっかり行っていますか?大切なのは、「できることから行う」「団体に携わる人たちが全員が高い安全対策意識を持つ」こと。

“たがさぼPress”とは?

たがさぼスタッフによるブログ。興味が湧いたらたがさぼPressへ! *ケータイ、スマホからもご覧いただけます。



たがさぼからのお知らせ

たがさぼが企画する「一歩ふみだすきっかけ」をご紹介します

たがさぼのX'mas 雑貨市

障がい者支援、国際協力、子育て支援、動物愛護などに取り組む団体がブースを出店し、雑貨・お菓子類の販売や子ども向けのワークショップを行います。今年も、クリスマスプレゼントにおすすめの品物や楽しいワークショップをご用意していますので、お誘い合わせの上ぜひお越しください。

日時	2015年12月6日(日) 午前10時30分~午後3時
会場	多賀城市市民活動サポートセンター 3F
入場料	無料
問合せ	022-368-7745 (多賀城市市民活動サポートセンター)

伝えることで、福祉を身近なものに

仙台・多賀城・塩釜地区で活動している社会福祉士・理学療法士・看護師など福祉専門職の人たちの団体「夜考虫」。地域内の福祉のあり方についてミーティングを重ね、福祉への理解と関心を高めるためにイベントなども開催しています。



塩竈市南部・東部地区地域包括支援センターに勤務する、代表の小野さん。団体のムードメーカーでもあります。

はじまりは、ふとした会話の中から

活動のはじまりは平成22年8月。代表の小野憲幸さんは気の合う同僚との会話の中で、「他の福祉職の人と互いの仕事について学びあえたらおもしろいのでは」と考えました。そして、このことを気軽に話せる場をつくらうと考え、メンバー6人で月1回の集まりを持つことにしました。各回2人ずつが仕事で困っていること、紹介したいことなどを出し合い、情報交換と連携により地域全体の福祉ケアのレベルを高めていこうと考えました。

昨年開催した「食フェス」の様子



少しずつ広がる福祉の輪

東日本大震災後の平成23、24年には仙台でイベントを開催し、震災後の困難な状況の中で必死に奮闘した職員の体験談を聴きあいました。その中で、福祉に携わる上で大切なこと一よりよいケアを行いその人らしい暮らし方を実現していくためには、支援を必要とする人と、福祉職の人や家族、地域住民など支える人たちとのつながりを深めることが大事である一を再認識できました。そして、その実現のためにはより多くの人に福祉のことを理解してもらうことが必要だと小野さんたちは考えました。

そこで、病院や介護の「食」に着目し、食べる人にとって食べやすいだけでなく見て味わって楽しめるような病院食・介護食を紹介した「食フェス」の開催や、隣接市町のイベントへの参加など、福祉についてより関心を持ってもらえそうな視点から堅苦しくなく考えられるような場をつくってきました。これらの取り組みを通して新たな理解者やつながりが増えるなど、活動に手ごたえを感じています。

福祉は身近なところにある

「福祉は人の幸せをサポートするもの。福祉職の人だけでなく家族や、地域住民一人ひとりが高齢者や障がい者を思いやり、支える何かができればいい。例えば近所付き合いの中で声を掛けあい、助け合うのも1つ。まず、福祉は自分には無関係だと思わず、もっと身近なものとして感じてほしい」と小野さんは目指す姿を話してくれました。



今年の8月には、5周年記念のイベントを開催。活動報告や講演、ケータリングでの介護食体験などを行いました。

夜考虫。



ブログ、Facebookで活動を詳しく見ることができます！

<http://yakoutyuunowa.jugem.jp/>

たがさぽ Pressでも取り上げました！

- 「地域福祉に取り組む『夜考虫。』」 2014年5月3日(土) 掲載
- 「DASU フェスでスッキリ」 2015年3月1日(日) 掲載

「夜考虫。」について、もっと知りたい方はこちらを！ 



「tag」には、多賀城 (tagajo) の頭3文字、みんながタグを組んで地域をつくる、多賀城に新しいタグ(価値)をつける、という意味が込められています。



「たがさぽ」ではツイッターもやっています。フォローお願いします！
@tagasapo



「たがさぽ」ホームページはこちら
<http://www.tagasapo.org/>